

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事故概要について】

1. 事故・ヒヤリハットの別	事故
2. 体験した事例の名称	ポンプ車の放水訓練を実施していたところ、筒先員に急激な圧力が係り負傷したもの。
3. 体験した事例の中心的要素	ポンプ車から吸管を投入したが、投入状態が不備であったため揚水が出来ない状況下であった。その状況下にも関わらず、水が出ないのは圧力が低いと思い、圧力を上げた（圧力は不明）。圧力を上げた事により、急に揚水され、筒先員に高圧が係り、筒先を保持出来なくなり転倒した。
4. 体験した事例の原因・理由	当事者の注意力及び、技術、知識不足。

【体験した事例の直接的な原因について】

1. 体験した事例の直接的な原因	行動の実行に問題があった。
------------------	---------------

【体験した事例について】

1. 発生日時	平成22年6月8日 午後6時頃
2. 発生した当時の天候	晴れ
3. 発生した活動現場	屋外：消防車の放水訓練用水槽
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させた。
5. 事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）	軽傷の怪我
6. どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）	転倒
7. 事例体験時の活動	演習訓練、[火災]
8. （7の活動中）どのような作業中に発生したか	その他：放水訓練
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した

● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ● ●

○当事者A	年齢[35]歳、勤続年数[17]年、現場経験年数[17] 年、階級[消防士長] 同様の活動 [頻繁]、任務 []
○当事者B	年齢[21]歳、勤続年数[1]年、現場経験年数[1] 年、階級[消防士] 同様の活動 [過去に1,2回程]、任務 []
○当事者C	年齢[]歳、勤続年数[]年、現場経験年数[] 年、階級[] 同様の活動 []、任務 []
○その他(当事者が4人以上の場合)	

[illegible]

	誰が(何が)	なにをした	その他・備考など
経過1	当事者A	ポンプ車を放水訓練場所まで移動	
経過2	当事者B	ポンプ車からホース延長	
経過3	当事者A	ポンプ車から水槽へ吸管投入	
経過4	当事者B	筒先を構え放水体制	
経過5	当事者A	機関員操作	
経過6	当事者B	放水体制が保持出来なく転倒	
経過7			
経過8			
経過9			
経過10			
経過11			
経過12			

[illegible]

○事故の場合：事故が起きたのはどうしてだと思うか？

○ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

体力、反射神経等身体能力が劣っていた。危険情報を把握、予見できなかった。集中力、注意力がなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	いいえ
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	いいえ
b. 注意力が欠如していた	
・1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	はい

c. 経験・知識が不足していた。

・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	いいえ
・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	いいえ
・活動に対する経験が不足していた。	いいえ

d. 心身の不調があった。

・体調が悪かった。	いいえ
・悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・装備・資機材の使用方法が誤っていた。	はい
・装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境(雨・濃煙)によって視界がさえぎられた。

・障害物(建物等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・特異環境(煙、暗闇、降雨等)のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ

g. 行動しにくい環境だった。

・狭隘な場所であった。	いいえ
・暑かった(寒かった)。	いいえ
・野次馬が多かった。	いいえ
・現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった(適切な指示を与えられなかった)。

・活動指示が得られなかった。(無線が通じない等。)	いいえ
・指示内容に誤り・偏りがあった。	はい
・指示内容が実施困難であった。(周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。)	いいえ

k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・隊員の連携が不十分だった。	はい
・隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

午後からの訓練で当事者Bは自力とはんの訓練を実施し、体力的疲労があった。

【事故発生後の取り組みについて】



○注意力欠如、焦り等の対策について

今回の事案では、吸管投入に不備が発生している状況下で、先へ先へと活動が進み隊員が受傷した。一つの活動を行った際、「指さし」「呼称」の必要を再認識し、呼称の徹底に努めるよう周知した。

○装備・資機材の対策について

該当なし

○活動環境の対策について

人数不足のため2人で実施したが、多人数で実施するよう隊員へ周知する。

○指揮・情報伝達の対策について

操作上疑問に感じた時はまず操作を止め、隊員間で情報を共有したのち、リスタートするようした。